

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年10月8日

2002年10月6日現在

10月6日迄の1週間の気温はSE及びCENTを除き、他地区は平年を下回る気温であった。全州で降水が有り、1週間の降水量はNWで0.35インチ、WCで0.27インチ、SW0.2インチと成っている。中央から東部の降水量は0.43~0.65インチであった。この週の平均農作業可能日数は5.5日であった。

デュラム小麦の収穫は96%で完了（昨年：99%、平年：96%）した。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	16	28	52	4
Last week (%)	18	32	44	6
Last year (%)	13	42	44	1
5-yr. Ave. (%)	11	26	60	3

Subsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	18	30	48	4
Last week (%)	19	29	47	5
Last year (%)	9	34	56	1
5-yr. Ave. (%)	8	27	61	4

小麦生育状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Durum wheat				
Combined (%)	96	89	99	96

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

州東北地区で収穫された硬質春小麦の品質は、昨年と比較し多少蛋白質は低く、容積重は高い傾向にある。灰分は昨年より低い結果が出ている。北西地区の硬質春小麦の品質は、昨年に容積重並びに蛋白質が低くなっている。蛋白質 (as is moisture) は平均 14.44% (昨年: 15.52%)、容積重は 58.86lb/bu (昨年: 59.44) との報告がある。又、Falling Number の平均値は 337 であり、昨年の 407 秒より少ない結果と成っている。登熟期に入ってからからの降雨が低蛋白、低 FN 値、低容積重の原因と思われる。